

会社案内

SEGA[®]

知的創造力を刺激する無限のイマジネーション

EC-78 _____ CHICAP BATCH TRACKING

PATOKA _____ SHELBYVILLE _____

_____ CULLOH _____

METER	ID	BOOTH	LEFT	FX	BATCH
MOB	SM-30	75000	75000	RCV	SM-30
SW	SM-63				
02SW	SM-56	46000	43375	DEL	SM-57

SM-23
SM-57
SM-23
SM-23



homo ludens (ホモ・ルーデンス=遊ぶ人)

“人間は遊ぶ動物である”とホイジンガ(オランダの文化史家)は人類を定義づけています。知に遊び、感性に遊び、人は驚異的なスピードで文明を築いてきました。人類100万年の歴史のうち、文明を生み出してから1万年。わずか1%の時代が、いかに加速度的な進歩の時代であったことか——。そして、これからの時代が、いかに無限の可能性を秘めていることか——。

その可能性を着々と現実のものとする力は、時代に先がける高度なテクノロジーと豊かなイマジネーションだ、とセガは確信します。実際にセガのもつ未来指向型の開発精神と、最新技術への果敢なチャレンジは、つねに新たな創造工学の世界を切り拓いてきました。そしていま、セガはすでに21世紀の未知の領域へと目を向けています。そこにあるのは、人間の豊かな感性と知的創造力を刺激する、創造工学の結晶ともいべきセガの製品群です。

鋭敏な感性のかけ橋として



代表取締役社長

中山隼雄

ごあいさつ

遠い未来と思われた21世紀が十余年先という視界に入っております。高度情報社会の一翼を担う企業として、セガは21世紀を見据えた中長期ビジョンを立て、全社を挙げて新生セガの未来図を描いております。

セガは昭和26年、日本に初めてアミューズメント・マシンを紹介して以来、LSI、超LSIなど最先端のエレクトロニクス技術を率先して導入、業界発展の中心的な役割を果たしてまいりました。この間、日本はもとより、広く世界のマーケットに向けてグローバルな事業活動を展開し「技術のセガ」として高い評価を得ております。

現在では、アミューズメント産業も高度な先端技術を駆使したハイテク産業へと変貌をとげ、社会的な認知も高まり、新たな飛躍への期待が寄せられるまでに至りました。アミューズメントで培った最先端技術と時代のニーズにマッチした製品開発力のノウハウは、極めて応用範囲も広く、高度情報化社会の多様かつ高度なニーズにお応えできるものと確信しております。

このような新時代のニーズに対応すべく、当社は事業分野を拡大し、パーソナルコンピュータやビデオゲーム、ハイテク玩具などホームエレクトロニクスの分野でコンシューマ市場への参入を果たしました。このホームエレクトロニクスの市場は、今後限りなく発展、成長する夢に満ちた分野です。さらに大きな夢を将来に提供したのが、AI（人工知能）コンピュータによるホームエデュケーションの推進です。画期的なこのシステムが、優れた在宅学習のシステムとして普及する日も遠くありません。この他、CATVをはじめとするニューメディア、ニュービジネス分野など、セガが志向する人間性豊かなコンピュータ社会に向けて、着々と研究開発を進めております。

総合エンターテイメント産業として、総合ホームエレクトロニクス産業として、独自の創造哲学と創造工学とをいかに発揮しつつ、未来への挑戦を続けてまいります。



会社概要

会社名	株式会社セガ・エンタープライゼス		
所在地	〒144 東京都大田区羽田1丁目2番12号 TEL.03(743)7430		
商標	SEGA®		
設立	昭和35年6月(創業 昭和26年4月)		
資本金	202,440万円		
従業員数	1,100名		
年商	310億円(昭和61年4月実績)		
決算期	4月30日(年1回)		
役員	代表取締役会長	大川 功	
	代表取締役社長	中山 隼雄	
	専務取締役	駒井 徳造	
	取締役製造本部長	北村 裕昭	
	取締役販売事業部長	小形 武徳	
	取締役社長室長	中村 俊一	
	取締役営業事業部長	永井 明	
	取締役海外担当	デヴィット・ローゼン	
	取締役	湯川 英一	
	取締役	森 健治郎	
	取締役	大前 猛	
	取締役	岩田 巍	
	取締役	矢田 光治	
	取締役	藤枝 純教	
	取締役	笠原 明道	
	取締役	北之園英博	
	常勤監査役	小林 新吉	
	監査役	外立 憲治	
	監査役	宮崎 金助	
取引銀行	住友銀行・日比谷支店	三和銀行・赤坂支店	
	住友信託銀行・新宿支店	協和銀行・新宿西口支店	
	百十四銀行・東京支店	横浜銀行・蒲田支店	
	日本長期信用銀行・本店		

- 事業内容**
- 1.各種ビデオ・ゲーム、アミューズメント・マシンおよび関連電子機器の製造・販売・賃貸・輸出入、アミューズメント・センターの企画・設計・設置・運営
 - 2.パーソナル・コンピュータ、コンピュータ・ビデオゲーム機、教育機器、玩具・娯楽用品および各種周辺機器、ソフト類の製造、販売、輸出
 - 3.両替機その他電子機器の製造、販売

- 関連会社**
- セガ エンタープライゼス, インク. (U.S.A.)
 - セガ オブ アメリカ, インク.
 - セガ ヨーロッパ リミテッド
 - セガ エンタープライゼス(オーストラリア)
 - コンピューターサービス株式会社
 - ピーティーワイ, リミテッド.
 - ビジネスエクステンション株式会社
 - シー・エス・ファイナンス株式会社
 - アイ・エヌ・エス株式会社
 - 日本プレジジョン株式会社
 - 株式会社シー・エス・ケイ総合研究所
 - 共同VAN株式会社
 - シーエスケー システム・マネージメント・サービス株式会社
 - 日本インフォメーション・エンジニアリング株式会社
 - コンピューターソフト株式会社
 - 株式会社ルサ・ネットワーク
 - 日本ティー・ビー・エム株式会社
 - NTT情報開発株式会社

- 沿革**
- 昭和26年4月 サービス ゲームス ジャパンを創立
 - 昭和35年6月 サービス ゲームス ジャパン株式会社を解散し、同社の業務を継承し、日本娯楽物産株式会社(当社の前身)を設立
 - 昭和40年7月 有限会社ローゼン・エンタープライゼス(昭和29年創立)を合併、社名を株式会社セガ・エンタープライゼスに変更
資本金 10,353万円
 - 昭和41年7月 資本金 15,003万円に増資
 - 昭和44年3月 米国ガルフ アンド ウェスタン インダストリーズ インク傘下となる
 - 昭和55年7月 英国にセガ ヨーロッパ リミテッドを創立
 - 昭和58年7月 資本金 45,003万円に増資
 - 昭和59年4月 CSK(コンピューター サービス株式会社)グループの資本参加により、CSKグループの一員となる
 - 昭和60年3月 当社100%出資の子会社 セガ エンタープライゼス, インク. (U.S.A.) 設立
 - 昭和60年10月 資本金 202,440万円に増資
 - 昭和61年3月 当社100%出資の子会社 セガ オブ アメリカ, インク. 設立
 - 昭和61年5月 当社100%出資の子会社 セガ エンタープライゼス(オーストラリア)ピーティーワイ, リミテッド. 設立

よりハイ・タッチなアメニティ・ゾーン追求のために

昭和26年にいち早くアミューズメント事業に着手した当社は、常に先端技術の導入とテクノロジーの革新に努め、アミューズメントマシンおよび関連機器、ゲームソフトの最大手メーカーに成長、リーディング・カンパニーとして地位を築きました。

より知的でハイレベルな遊びへのニーズが高まるにつれ、セガのアミューズメント・マシンも高度化・多様化をとげてきました。画面は色彩にあふれた緻密な構成をもって視覚に迫り、ゲームのシナリオもストーリー性、ドラマ性を強め、コンピュータ・グラフィックスが新たな芸術的表現手段として脚光を浴びるまでになりました。テクノロジーとイマジネーションの結合である「創造工学」、これこそセガが提唱してきた新しい技術分野です。

こうして開発されたセガのアミューズメント・マシンは、〔施設運営事業〕〔販売事業〕〔海外事業〕の3部門を通じて、国内・海外のユーザーに提供されています。

〔施設運営事業〕は、ロケーションの店舗設計およびその管理・運営からマシンのレンタルを中心としたマーケットの開拓、マシンのデリバリー、アフターサービスなど総合的に展開しております。全国に直営店が約200店舗、さらに約2000カ所のロケーションに当社約4万台のマシンが設置されています。また他社に先駆けてパンチ機能付磁気カード式によるカードシステムを開発。セガ・ゲームカード・システムとして新しい事業展開を行っています。

〔販売事業〕は、全国1000余の販売業者を通じて、高品質で市場性の高い製品を提供しています。またゲームセンターや各種レジャー施設の企画・設計から、コンサルティング活動も活発に行っております。



Amenity

CREATIVE LOVE LINE—SEGA



感性をみかくホームエンターテイメントとして

ホームエレクトロニクスとエンターテイメント

ホームエレクトロニクス化の時代に先がけて、昭和58年、セガはパーソナルコンピュータを発売。以来コンシューマ製品はセガの経営戦略の大きな柱になりました。パソコンやテレビゲームは圧倒的な勢いで家庭に浸透し、マーケットはめざましい拡大を遂げています。そして昭和60年には玩具分野にも進出し、コンシューマ製品の多角的な展開を繰り広げるまでに至っています。

こうしたことから、コンシューマ関連事業をH・E事業部として、ホームエレクトロニクス分野はもちろんのこと、ホームエンターテイメント分野や新しい在宅学習の未来を拓くホームエデュケーション分野の研究、開発に力を注いでいます。21世紀に向けての限りなく豊かなホームエンターテイメントの誕生のための核として、先進の考え方で事業を押し進めています。

家庭用テレビゲーム

昭和58年に発売されたSG-1000は、その後ハードの機能の充実と品質性能の向上を目指し、SG-1000IIからマークIIIへとバージョンアップしてきました。

そのセガマークIIIは、グラフィック能力を豊かにするなど、数々の先進性を取り入れています。アミューズメントで培った強力なソフト・ノウハウとともに、現在では独自の領域を確立しています。また世界戦略の一つとしてセガマークIIIの基本コンセプトをベースに新開発した、セガマスターシステムは、アメリカ

をはじめヨーロッパ、オーストラリアなど全世界で発売されています。



Enterta

エレクトロニクス・トイ

成熟社会の到来とともに、ホームエンターテインメントの重要性がますますクローズアップされてきました。生活そのものが“知的創造活動”を中心としたものに変化しつつあるからです。この分野にも、セガは独自の技術とコンセプトをもって参入しています。

エレクトロニクス・トイもその一つで、セガはいままでの玩具のイメージを打ち破ったユニークな世界を切り拓こうとしています。アミューズメントの世界でつちかったテクノロジーとノウハウをいかに発揮できる分野です。

セガはすでに、野球やテニスの相手をするロボット玩具やステレオサウンドにあわせて踊るロボット玩具、光線銃でまったく新しい遊びを提案したジリオンなどの新分野のエレクトロニクス・トイを発売、今後も独自のノウハウでエレクトロニクス・トイの開発を続けていきます。



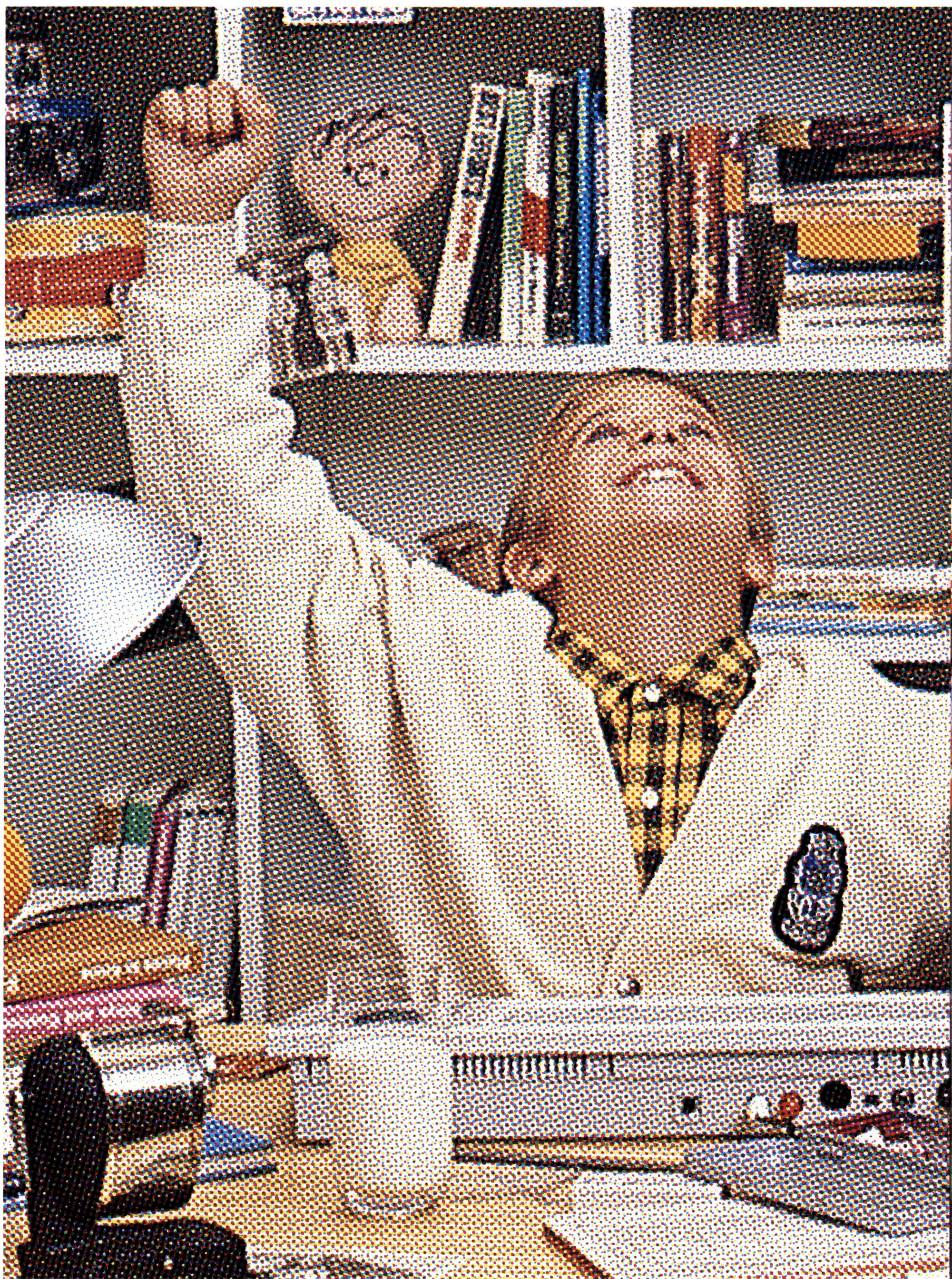
ainment

ホーム・エデュケーションの新たな道を切り拓くために

ハイテクを教育ツールに

高学歴化の進展とともに、教育に対するニーズはますます高度化、多様化しています。これからの教育の手段の一つとして注目されているのが、ハイテクの活用です。なかでも知的CAI (COMPUTER ASSISTED INSTRUCTION) は最も有力なシステム。

コンピュータの情報処理能力を教育に応用しようというものです。従来の教育機器やプログラム学習とちがって、個々の生徒の適性、解答の仕方、思考方法や誤答のパターンなどを識別、記憶し、それに対する適切な指導を与えることができます。生徒の能力や学習水準に個別に対応できるため、画一的な教科書型教育のデメリットを補うことが可能になるわけです。セガは、人工知能原理の導入という最も進んだ考え方に立ち、この知的CAIの開発を推し進めています。これまでもセガは、ホームコンピュータ用の教育ソフトを手がけてきたため、そのノウハウの蓄積を応用することもできます。



Education

CREATIVE LOVE LINE—SEGA



世界初、人工知能を搭載した ホームコンピュータ

昭和61年3月、セガAIコンピュータの開発のニュースが大きな注目を集めました。AI (ARTIFICIAL INTELLIGENCE=人工知能) のコンシューマ分野における実用化に成功した最初の製品だったからです。AI技術を利用したCAIシステムは、シー・エスケイ総合研究所とセガの共同開発による人工知能言語SEGA PROLOGを使用。学習を進める過程でAIが生徒の特性を分析・判断することによって、ひとりひとりの理解度や学習水準を的確に把握し、それに見合った個人対応型の指導を行うことができます。コンピュータと対話しながら、学び、考え、理解を深めていく——それが従来の教育機器とは全くちがった人工知能CAIの大きな特徴です。このまったく新しいコンセプトのCAIシステムを通じて、セガはホームエデュケーション分野に果敢な挑戦を続けています。



海外市場にまでおよぶリーディング・パワー

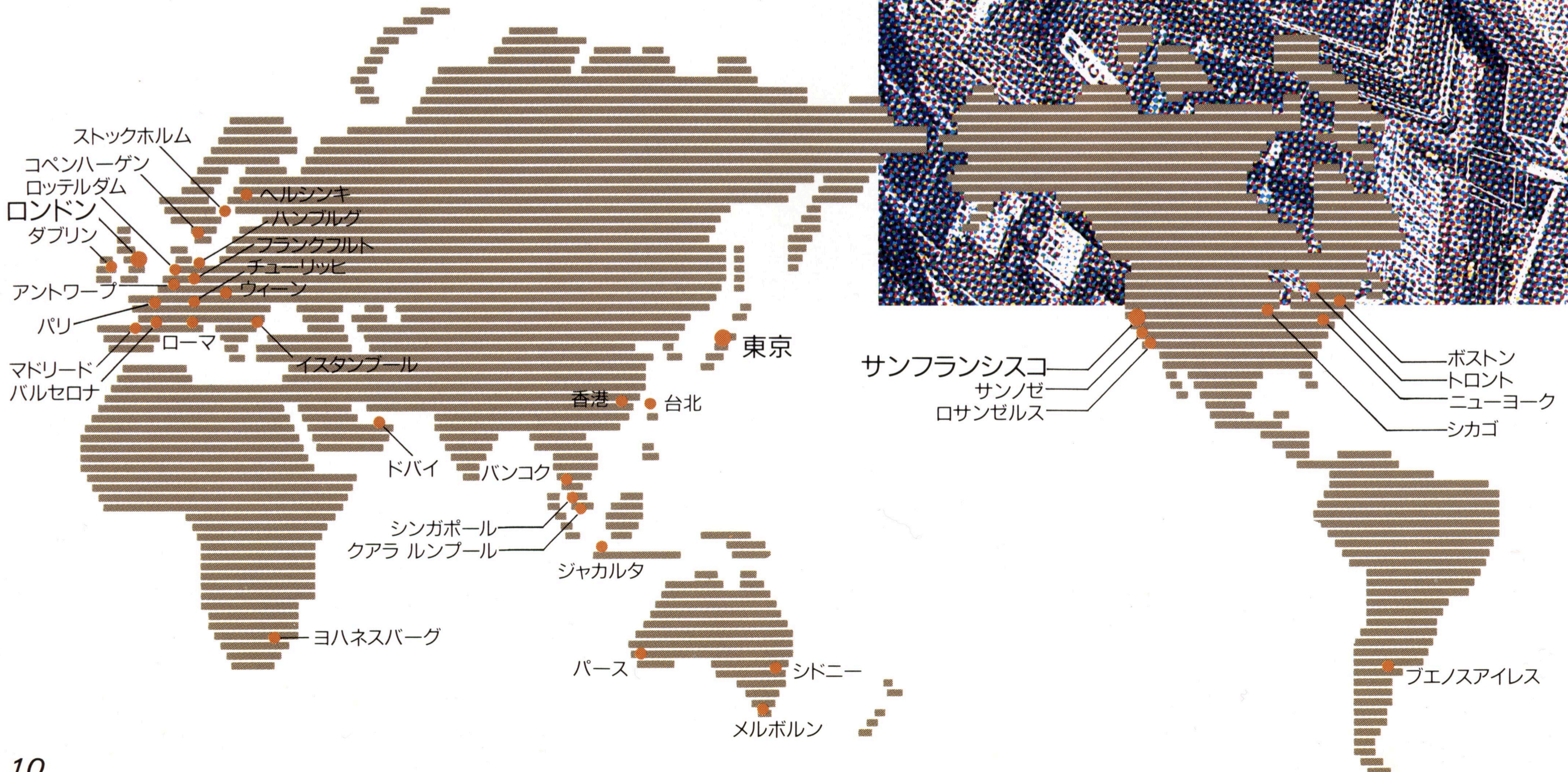
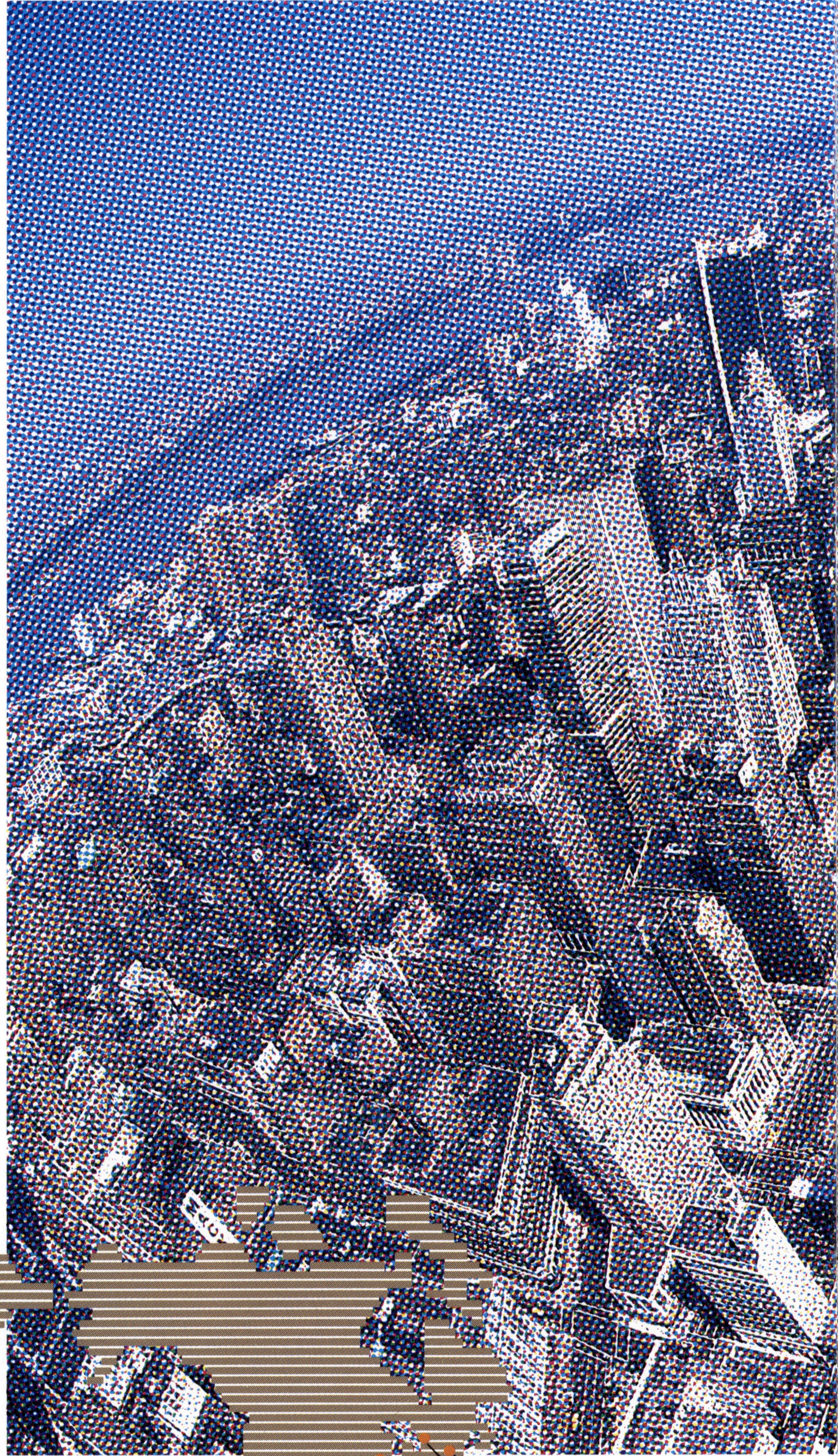
世界各地に広がるアミューズメント事業

アミューズメントの領域には、国境がありません。北米、南米、ヨーロッパ、オーストラリア、東南アジア、中国、中近東など、世界各国にセガ製品は輸出されています。

アミューズメントマシンは、完成品輸出のみでなく、ICボードを含むキット販売や、製造許諾方式によるライセンス供与も活発に行われており、各国で多数のセガ・マシンが人々を楽しませています。セガは海外市場でも、大いにリーディング・パワーを発揮しているのです。

拡充すすむ海外市場

「セガ・マスターシステム」をはじめとするコンシューマ製品も、アメリカ、ヨーロッパやオーストラリアなどの世界各地に輸出されています。また、海外拠点の拡充にも力を注ぎ、アメリカ・カリフォルニア州に業務用アミューズメントマシンの販売を主業務とした「セガ エンタープライゼス、インク.」、セガ・マスターシステムの販売を主業務とした「セガ オブ アメリカ、インク.」を設立している他、ロンドンに「セガ ヨーロッパ リミテッド」、オーストラリアに「セガ エンタープライゼス(オーストラリア)ピーティーワイ、リミテッド.」を設立し、そのパワーは全世界におよんでいます。





Leading Power

リーディング企業として、21世紀へのプロローグ

セガの21世紀は、もう始まっています。

テクノロジーとイマジネーションを結合させて生み出すセガの創造工学は、つねにドラマチックなエポックを、その歴史に刻んできました。

しかし、最新、最先端とは、

それをクリアした瞬間に過去のものになってしまいます。

セガにとっての21世紀は、“次の瞬間”に等しいのです。



技術革新と合理的な生産体制

“世界初”あるいは“わが国初”という数々のエポックを生み出してきたセガの歴史は、まさに技術革新の連続と最先端技術へのチャレンジの連続です。セガのエンジニアたちの部屋が、研究室のようであり、デザイン工房のようであり、設計ルームのようでもあるのは、そのためです。このようにして生み出された製品の高水準の精度を維持し、また適正な価格を維持するために、生産ラインそのものも非常に重要です。

続々と開発される新製品に対応して、スピーディに合理的な生産体制が整備される生産ライン。ここにも先端技術を誇るセガの、独自のノウハウが結集されています。

Prologue



豊かな個性と感性——研究開発本部

セガの各事業部門を支える原動力は、研究開発本部です。300名近くもの開発部員がテーマごとにプロジェクトを組み、開発に取り組んでいます。企画クリエイター、デザイナー、ソフトウェア、ハードウェア、サウンド、メカニクスなど、各分野の専門スタッフが一体となってチームを形成します。まさにテクノロジーとイマジネーションの激しい競い合いの中から、新しい製品を生み出していく「創造」の作業です。

アミューズメント、H・Eに加え、最近ではホームエデュケーション分野など、商品開発に力を注いでいます。

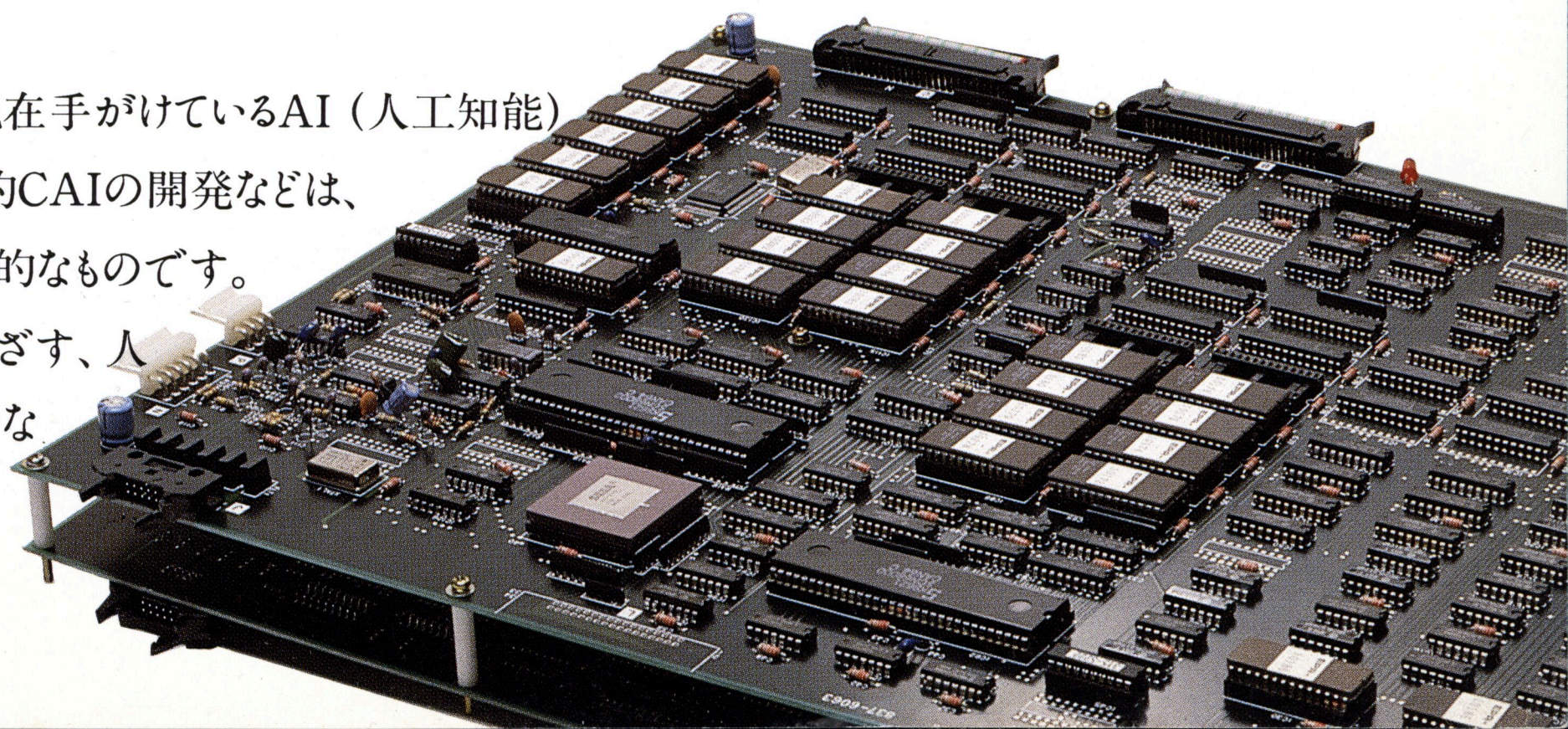
常に新たな技術トレンドを予兆しながら——エマージング・テクノロジー

21世紀に向けて、高度情報社会の一翼になうセガは、いっそうの発展をとげるために、さらに遠い技術のフロンティアを追っています。この領域は、エマージング・テクノロジー（出現途上技術）と呼ばれ、先端技術のさらに先を行く、いわば技術の処女地。

セガが現在手がけているAI（人工知能）による知的CAIの開発などは、その代表的なものです。

セガがめざす、人間味豊かな

コンピュータ社会。それを実現するためにも、まだいくつものエマージング・テクノロジーにチャレンジし、これをクリアして行かなければなりません。時代は常に新たな技術トレンドを予兆し、セガはいち早くその流れをリードして行きます。



事業所

- 東京本社 〒144 東京都大田区羽田1-2-12
 TEL. 03(743)7432(販売事業部)
 03(743)7433(営業事業部)
 03(743)7435(H・E事業本部)
 03(743)7438(海外事業部)
 03(743)7430(受付)
- 札幌支店 〒062 札幌市豊平区豊平五条3-2-34
 TEL. 011(841)0248(代表)
- 関西支店 〒561 大阪府豊中市豊南町東2-5-3
 TEL. 06(334)5333
- 博多支店 〒810 福岡市中央区白金2-5-15
 TEL. 092(522)4715(代表)

営業所一覧表 (昭和61年10月1日現在)

営業所	住 所	電話番号
札幌	062 札幌市豊平区豊平五条3丁目2-34	011(841)0248(代)
苫小牧	050 室蘭市東町2-27-20プレイランドセガ内	0143(43)0487
滝川	073 滝川市栄町1-8-27	0125(22)6539
旭川	070 旭川市忠和三条7-6-21	0166(25)7940
釧路	085 釧路市双葉町10-21	0154(23)8826
函館	040 函館市松風8-8ハイテクランドセガ内	0138(26)7085
青森	030 青森市大字安田字近野153-9	0177(82)5150
盛岡	020 盛岡市向中野字野原8-1	0196(35)8588
仙台	983 仙台市中野字出花西17-1	022(258)3984
郡山	963 郡山市富田町字愛宕前77-1横山ビル1F	0249(51)9911
茨城	310 水戸市元吉田町1011-2	0292(47)2125
宇都宮	321 宇都宮市御幸町96	0286(61)8770
栃木	327 佐野市若宮下町9-15	0283(24)7364
群馬	371 前橋市六供町1024ミナミビル内	0272(24)8765~6
千葉	280 千葉市高品町1589-9	0472(33)0037
埼玉	330 大宮市三橋4-551	0486(22)1828~9
新潟	950-21 新潟市小針2-38-12	0252(33)3464
東京	144 大田区羽田1-2-12	03(743)7443
東京西	185 国分寺市本多2-3-1	0423(24)5463
大和	242 大和市中鶴間甲3号617-3	0462(76)5551
横浜	232 横浜市南区宿町2-49浜文ビル1F	045(713)7411~2
湘南	238 横須賀市安浦町2-25	0468(22)3801
熱海	259-03 神奈川県足柄下郡湯河原町土肥1-14-22	0465(63)2577
伊豆	415 下田市西本郷2-6-3	05582(2)4521
沼津	410 沼津市平町9-3	0559(62)5972
静岡	422 静岡市馬淵3-8-5毛利ビル内	0542(86)1311
浜松	430 浜松市下池川町14-8	0534(71)6952
名古屋	452 名古屋市区西中沼町118	052(502)9161(代)
金沢	921 金沢市入江3-34	0762(91)2030
富山	933 高岡市末広町元畑50-1イセビル2F	0766(24)5883
京都	601 京都市南区吉祥院嶋榎山町45	075(691)8885
大阪	561 豊中市豊南町東2-5-3	06(334)5333
和歌山	641 和歌山市梶取316-9	0734(51)2466
姫路	670 姫路市東延末2-84	0792(81)9227
岡山	700 岡山市米倉70	0862(41)1202~3
広島	730 広島市南区南蟹屋1-8-13	082(281)2411(代)
米子	683 米子市米原740-1	0859(33)7033
徳島	779-31 徳島市国府町日開字南239-5	0886(42)1874
松山	790 松山市古川町71-2	0899(57)5128
高松	760 高松市木太町七区3585-8	0878(33)2321
北九州	802 北九州市小倉北区熊本2-7-42	093(551)7694
福岡	810 福岡市中央区白金2-5-15	092(522)4715(代)
久留米	830 久留米市東合川町大字大西923	0942(44)3595
熊本	861-21 熊本市東野2-8-14	096(368)6730
長崎	852 長崎市千歳町20-19	0958(44)0034
大分	870 大分市大字花高松2-7-15	0975(52)3361~2
宮崎	880 宮崎市鶴島3-43ドウェル88 1階	0985(23)6531
鹿児島	890 鹿児島市武1-44-9	0992(51)2092
沖縄	901-01 那覇市小禄1050清和マンション1F	0988(59)1420

